

単元名 公民的分野 「私たちの暮らしと民主政治」 地方自治と住民の参加

学習指導要領解説 p.154～157

【教材研究会 9月3日(金)】 ※オンライン開催

＜単元を貫く課題＞

「住みたいと思う高知市にしていけるために、私たちは地方自治にどのように関わっていけばよいだろうか。」

次	学習課題(問い)
1	身近な地域の政治は、どのようなしくみで行われているのだろうか。
2	地方自治体はどのように仕事を行っているのだろうか。
3	地方自治体は、どのような財政状況にあるのだろうか。
4	地域社会が抱える課題に対し、私たちは何ができるだろうか。
5	多くの市民に賛成してもらうには、西敷地をどのように活用すればよいだろうか。
6	多くの市民が賛成してくれそうな西敷地の活用案を考え、発表しよう。
7	ナンバーワン活用案を決定しよう。

本単元のねらい

・「高知市オーテピア西敷地活用事業」の活用案を考えるを通して、地方自治の基本的な考え方を理解し、地方自治への意識を高め、主体的に社会に関わろうとする態度を育成する。

・既習事項の活用

- ・地方の課題(過疎, 少子高齢化問題など)
- ・国の政治の仕組み

指導官 愛媛大学 教育学部 准教授より
井上 昌善 先生 指導・助言

・子どもが持つと予想される問いを踏まえて授業をつくっていくことが重要である。

・実社会における事業内容に着目した提案がされている。持続可能な事業を展開するために、費用負担をめぐる対立など、市民・行政・民間のそれぞれの視点を整理して、まちづくり推進のための仕組みを捉えさせることが重要であり、学習評価につながる。その際、事実・主張・理由を記述、発表させることで、評価することができる。

＜協議の視点＞

グループ協議

- ・生徒自らが問いをもてる課題解決的な単元構想となっているか。
- ・「見方・考え方」を働かせ、資質・能力を育成することができる単元構想となっているか。
- 高知市で実際に進められている事業について取り扱っていて、生徒の興味・関心を引く教材である。
- 現代社会の見方・考え方を意識した単元構想となっている。
- 生徒が提言したことが、最終的に生かされるようになれば、さらに意欲が高まると思う。

現代社会の見方・考え方「対立と合意、効率と公正」をより働かせ、考察、構想する学習過程へ改善

【授業研究会 10月13日(水)】 第6次 多くの市民が賛成してくれそうな西敷地の活用案を考え、発表しよう。

本時の流れ

- 1 本時のめあて等の確認
- 2 班での練習
- 3 他の班にプレゼンする
- 4 活用案を練り直す
- 5 振り返り・発表

《活用案を発表している様子》
「子供から高齢者まで楽しめる」
「観光客に高知の魅力を伝える」
「無料・有料スペースを設営」

◎ ICT の活用 実践&考えられる例

- ・インターネットでの情報検索(高知市 HP 等)
- ・市の取組, 課題, 財政について調べる
- ・位置情報をインターネットから確認
※生徒へのアンケート, 外部機関とテレビ会議でのインタビューなど

◎ 指導と評価の一体化と手立て

- ・本時のまとめ・振り返りの記述内容を、評価規準に照らし合わせて評価し、学習・指導の改善に生かして、単元末で評定に用いる評価とする。
- ・ワークシートにコメントを入れる。
(不足している視点を問いつける など)
- ・次時の授業内容に反映させる。

生徒の振り返り より(単元末) ※抜粋

今まで自分の街をよくするために何かをつくることについて、今回考えることができて、自分の地域について前よりも知ることができたと思います。他の班の意見を参考にすると、次々にアイデアが浮かんで改善することができました。また、高知市を改善しようとするため、高知市の課題をたくさん探しました。すると、今まで見えていなかった課題に気付くことができたので、自分も高知市に住む一人の市民としての気持ちを高めることにつながりました。これからもっと高知県や高知市に関心をもって過ごしていきたいです。

＜協議の視点＞

グループ協議

- ・社会的な見方・考え方を働かせ、考察、構想することができていたか。
- ・高知市の課題を視野に主体的に社会に関わろうとする姿が見られたか。
- 様々な市民の立場から構想することができていたが、さらに効率・公正の視点で考えさせていくことができたと思った。
効率: 集客や売り上げの視点 公正: 子供から高齢者という様々な世代に障害者などさらに多様な市民のニーズ
- 他の班の活用案を聞いて改善する際の手立てが見えづらかったため、改善した点をしっかり示すように指示するなど再構築したことが分かるようにするとおよかった。1人1台端末の活用も考えられる。

グループ協議の様子



授業者 和田 盛意 教諭より

この授業づくり講座を通じて意識したことは、『現代社会の見方・考え方を働かせる』ということです。課題一つにしても、それを意識することで、単元の構成や、前時までにどのようなことを身に付けていなければならないかといったことも考えるようになりました。もう一つは、魅力的な課題の設定です。今回は、オーテピア西敷地の利活用問題という、身近でホットな話題を取り上げることができたので、生徒も一生懸命課題に取り組んでいました。これからも生徒が「おもしろい・やってみよう」と思う課題の設定を心掛けていきます。

参加者の声～アンケートより～

- ・単元を貫く課題の重要性を改めて考えた。見方・考え方を働かせ、自分の考えを表現できる生徒を育成していきたい。
- ・(地方自治を学ぶ)本単元では、生徒にとって身近なテーマがとてよかった。ニュース等を探していくようにしたい。
- ・評価の方法や指導の手立てについて、勤務校の教科会等を通して検討していきたいと思う。